

平成25年度「光市まちづくり市民アンケート」の実施結果について

1 概要

実施期間	平成25年9月3日～17日（15日間）
対象	18歳以上の市民2,000人
回答数	849人
回答率	42.6%

2 大きな項目ごとの結果や傾向について

(1) 回答者の分析

男女比では女性が多く、年齢層では60歳代が最も多い。
30代以下については、全体の2割弱となっている。

(2) 「人と地域で支え合う まちづくり」について

(質問項目：まちづくりへの参加状況、自治会や公民館活動への参加状況 など)

《結果・傾向》

- ・ 様々なまちづくりの分野の中で、「防災活動」や「環境保全活動」への参加の割合が昨年度に比べて増加し、「健康づくり活動」や「消費生活の支援活動」に対する参加の割合が減少。
- ・ 自治会や公民館活動への参加状況については、昨年度と同様に「時々参加している」と回答した人が最も多かった。

(3) 「市政への市民参加」について

(質問項目：市政への関心、市民意見のまちづくりへの反映 など)

《結果・傾向》

- ・ 市政への関心度の割合については、「たいへん関心がある」が減少し、「あまり関心がない」が増加
- ・ 市政に意見を言う機会や手段については、現状に満足している人より不満を感じている人の割合の方が上回っている。

(4) 住みよさ・愛着感について

(質問項目：住みよさ、愛着感、今後の居留意向 など)

《結果・傾向》

- ・ 昨年度と同様に回答者の約8割が「住みよい」と回答し、また、約7割が「愛着を感じている」と回答している。

(5) 「光市の強みと弱み」について

《結果・傾向》

- ・光市の強みとしては、「気候や景観、水などの住環境」や「海・山・川などの自然環境」を挙げた回答者の割合が圧倒的に多かった。
- ・光市の弱みとしては、「買い物や外食が不便」「交通の便が良くない」「医療・福祉施設やサービスが充実していない」との回答の割合が多かった。

(6) 市政に対する評価と今後の期待について

《結果・傾向》

- ・市政に関する43項目の満足度は、昨年度に比べて37項目が上昇しており、不満の割合も39項目で減少している。

43項目中	増加	減少	増減なし
「満足」の割合	37	6	0
「不満」の割合	2	39	0

- ・市政に関する43項目の重要度は、昨年度に比べて30項目が減少しているが、「重要でない」と回答した人の割合も35項目で減少している。

43項目中	増加	減少	増減なし
「重要」の割合	13	30	0
「重要でない」の割合	4	35	4

- ・43項目における重要度と満足度の差であるニーズ度については、昨年度と同様に「企業誘致、雇用の確保」と「地域医療対策の充実」が高い。

(7) 日常生活における意識について

《結果・傾向》

- ・市民の日常生活の意識について、「インターネットの利用」の割合が昨年度に比べて大幅に増加し、一方、「地域行事やお祭りへの積極的な参加」が減少している。

(8) まちづくりへの提言

《結果・傾向》

- ・「安全・防災、交通、都市基盤整備」に関することや、「行財政運営」に関することなど331件の意見や提言があった。